

杉並区立

# 西田小学校同窓会会報

発行者 杉並区立西田小学校同窓会 編集責任者 宇田川允敏

また同窓会の会報をお届けする時期になりました。

今回は西田小の教育方針や、それをバックアップするPTA、おやじの会、土曜クラブ、野球部、サッカー部などの指導者の方々の、西田小とその子供たちへの熱い思いをお聞きし、特集としてお送りします。

このように沢山の方が、子供たちを応援して下さいていることに、同窓会としては、大いに感謝する次第です。

## 西田小学校の教育活動について

校長 若杉 隆先生

西田小の教育活動を進めていくにあたり、その指針となるものは、校長が教職員に提示する学校経営方針というものです。これについては、先日行いました学校説明会でも若干お話いたしました。ここに、その一部を紹介させていただきます。

### 1 目指す学校像

(1) 一人一人の子どもの願いがかなう学校にしていきます

子どもは、最良の教育を受ける権利を持っています。成長したい、勉強が分かりたい、学校で活躍したい、落ちついた気持ちで生活したい、友達をたくさんつくりたい等々、一人一人の子どもはそれぞれに様々な願いを持って、毎日学校に通ってきます。学校はその願いをかなえる場でありたいと考えます。そのためには、教育活動を充実させるとともに、教師の適切な支援によって学ぶことがおもしろい学校、生活することが楽しい学校にしていくことが求められています。

(2) 事故ゼロを目指し、安心して通える学校にしていきます

事故のない学校、いじめのない学校、心配事のない学校にしていくことが、教育活動を進める上で最も配慮すべきことであります。様々な場面を想定した避難訓練、全ての教職員の目で見える施設設備の点検、子どもの内面に語りかける心の教育等々を通して、どの子どもも活躍し、居場所のある学校にしていきます。

(3) 保護者や地域に開かれた学校にいきます

まず、保護者や地域の方がいつでも来校し、教育活動を見ていただく学校にしていきます。運動会等の学校行事をはじめ、授業公開、保護者会、個人懇談等を通して、学校の

様子を積極的に発信していきます。また、地域や家庭の要望や評価を真摯に受け止め、受け入れられるものは実現させていくことによって、信頼される学校にしていきます。昨年度に実施した本校独自の外部評価もその一例です。

## 2 本校の特色ある教育活動とは

基礎・基本の学力の向上や豊かな社会性ある人間の育成等については、本校だけでなくこの公立小学校でも行われているものです。その他に、本校が特に力を入れたい教育活動があります。そのいくつかを具体的にあげます。

(1) 異学年の児童が相互に交流活動を行います。

1学期の間は、6年生が1年生のお世話をいろいろとしています。また、縦割り集会活動では、各学年の児童が20グループほどに分かれて楽しく工夫して遊びます。さらに秋に行われる西田フェスティバルでは、子どもたちによる自主的なゲームや催しの出店が、各教室や体育館で展開されます。

(2) 校内や地域の自然環境を生かした活動を行います。

昨年度は「校内の緑をもっと知ろう」ということで、校内の樹木調べを行い、ネームプレートを取り付けたり、樹木分布図を作ったりしました。今年度は、地域の樹木にも目を向けていきたいと考えています。また、バケツによる稲づくりだけでなく、水田でも稲を育てます。

(3) コミュニケーション能力の育成を進めます。

本校の教職員で行っている校内研究では、国語科を重点教科にして聞く・話す・読む・書くという国語の基礎学力の向上を図りながら、自分の考え等を伝え合う力を育てていきます。日常的な授業の中で、子どもたちが進んで自分の経験を語ったり思いを発表したりできるような活動を取り入れていきます。

## P T A の活動について

P T A 会長 海老沼 美砂子様

西田小P T Aでございます。この度同窓会報にP T A紹介の場を頂き、ありがとうございます。

日頃より同窓会の先輩の皆様には暖かいご支援を賜っております。この場をお借り致しまして、心よりお礼申し上げます。

さて、西田小P T Aは、昨年度大きな活動見直しを致しました。「親の立場から、子どもによりよい教育環境を整えていく」ということが、P T A活動の本来の目的ですが、現在のP T A活動はそうだろうか、というところから始まりました。働く女性の増加している中、委員会の数、委員の人数、活動量が会員の負担になっていないか、様々な企画が周囲にあふれている今、活動内容は本当に必要なものなのか、意見交換を重ねました。また私たちにとって、より大きな課題も認識されました。それは、残念ながら学校やその周辺が安全ではなくなったということです。こういった会員の意見や、社会の大きな変化を踏まえ、現在の規約、活動方針、組織図を見直しました。その結果、各学級の代表からなる学級代表委員会と、各地域班の代表からなる地域代表委員会を中心に、学級P T A活動と子どもたちの安全確保を二つの柱としました。更に有志によって行われる実行委員会を通して、主体的ないきいきしたP T A活動になっていけばよいと考えています。今までの伝

統を受け継ぐ形で、コンサート、先生方の紹介新聞、ベルマークを行う自主的な活動が始まっています。

また、南側校舎の三階にあったPTA室が、北側校舎の一階に移転しました。校門に一番近く、子どもたちの往き来する一階の教室にあることで、私たちが日々のPTA活動をしていく中で自然に「人の目」が生まれ、自分たちでできる防犯活動の一つになればと思います。

PTA活動に携わる私たちの願いは、子供たちが大切な六年間を過ごす西田小が、子供たちの糧となり、将来懐かしく楽しく思い出す場となる一助になりたいということです。

今後ともどうぞよろしくお願いいたします。

## 西田おやじの会

西田おやじの会 片山 拓史様

西田おやじの会は、平成13年はじめに発足して、丸4年になる自主団体です。西田小学校児童の父親15人程度で活動を開始。現在メンバーは30人ほど。「西田小おやじ」ではなく「西田おやじの会」なので、すでに子供が中学生以上となったOB父親も終身会員という会則？に則り、メンバーは増える一方です。

活動としては、まず、毎夏西田小の体育館に、有志児童とともに一泊する防災訓練。昨夏は、昼間にプールでの水難救助の訓練を行い、その後、敷地内の倉庫から非常用の機材を取り出し、空き缶を使った炊飯実演を行いました。訓練・炊事・花火などのリクリエーションと、おやじ達がそれぞれの得意技を繰り出し、自主的に運営する、一から十まで手作りのイベントです。

その他にも、夏休みに自転車で学区域内を見回る夜間防犯パトロール、年2回の善福寺川緑地公園内でのバーベキューなど、硬軟とりまぜたイベントがありますが、なんといってもその中の白眉は「教育放談会」です。年に3回ほど行われるこの会は、地域について、教育について、酒を酌み交わしながら、おやじ達の思いを熱くぶつける会です。校長・教頭先生を始めとした先生方の出席をいただいたり、PTAからお母さん方も出席くださったりしながら、会場の許すかぎり、時間を忘れた議論がたたかわされます。特にご主人自身もおやじの会会員である「おぎの湯」2階をお借りする時には、朝5時の解散となったこともあります。

こういった活動を続けております西田おやじの会ですが、これからもより一層、地域とのつながりを深め、西田小の子供たちを育てゆくお役に立つことができればと、考えております。

## 西田土曜クラブ3年目を迎えて

西田土曜クラブ実行委員長 17期生 田辺 恵一様

西田土曜クラブは、平成15年10月の開校以来3年目に入りました。土曜クラブは、子供たちの土曜日の休日をも有意義なものとして、展開するために設けられた土曜日学校です。

この土曜クラブは、保護者を中心とするボランティアの組織である西田土曜クラブ実行委員会が、区教育委員会との共催で運営する、地域発信型の新しい教育の取り組みでもあ



ります。

土曜クラブでは、シリーズ企画として英会話、低学年を対象に工作、野球、高学年を対象にソフトテニス、卓球、更にイベント企画としてピアノとオペラ、空手、キッズテニス、パントマイム、歩き方等の各教室を実施してきました。どれも多くの子供たちの参加と保護者の協力により、充実した土曜日だったとのご意見をいただいています。

私がこの委員になったきっかけは、私の子育てに通じるものがあります。『結婚20年来の夢であった子育て、その過程で体験して感じた子供とのコミュニケーションの大切さを、今でも忘れず心掛けています。長男が昨年、母校を巣立ち中学へと一歩前進した、娘は3年生となった、夢のつづきはまだまだ残されている。そんな子育てができる喜びを、どんな形で報いたらと思ひ考へて、この委員の仲間入りをしました』

子供の教育は、私たちの時代とは大きく異なり、学校・家庭・地域等様々な関わりが求められています。私も子育てを通じ、わが子の成長には周囲の方々の協力が不可欠だと確信しています。“情けは人のためならず” 私はその意を自分の生き方のモットーにしています。“人に尽くす喜びを感じあえる家族でありたい” “子供たちの喜ぶ顔がみたい” を合言葉に始まった土曜クラブを、私はこれからも愛して行こうと思います。

西田小学校同窓会(西田小ファンクラブ)の皆さん、応援よろしくお願い申し上げます。

。

## 西田野球クラブについて

西田野球クラブ監督 小田 貴睦様

西田野球クラブは、西田小学校の生徒を中心に、地域の子供たちの1年生～6年生で活動しているクラブチームです。創部は昭和53年で、今年で27年目になります。

創部当初は1回戦で負ける弱小チームでした。何とか3回戦を突破できるようなチームにしたいと思い、練習試合を組むよう努力しました。お陰様で昭和63年創部10年目で、杉並区民体育祭で優勝することが出来、子供たちが西田野球クラブの歴史と伝統を、築き上げてくれた事を大変嬉しく思います。

西田野球クラブの最大目標であり念願の西武球場出場が、平成16年春季大会杉並予選に優勝し、第26回くりくり選手権大会に出場でき、初出場で堂々3位になり、大きい銅メダルを頂き、子供たちには良い思い出ができたことと思います。また秋期大会でも優勝し、杉並代表として東京都23区大会に出場し、23区でも優勝でき、西田に新しい1ページを刻んでくれたことを誇りに思います。

23区の主催者より、西田の子供たちは礼儀正しく、どんな時でも一生懸命プレーする姿は、見る人の心を打つと言われたことが心に残りました。これも学校での教育と、家庭での指導の賜物と感謝しております。(これは優勝するより難しいことかもしれません)

このような成績を残せたのも、優秀な子供たちと熱心なコーチ達のおかげと思っています。今後とも学校、父母と協力し、西田の名前を高め、他チームから良い目標になるよう頑張ります。

OBの皆様の近所で野球をする子供がいましたら、西田野球クラブに入るよう勧めて頂ければ大変ありがたく思います。皆様のご指導ご鞭撻を宜しくお願い致します。

(注：小田監督連絡先 ☎ 3398-8065)

## 西田フットボールクラブ

世話役 那須野 潤子様

西田フットボールクラブ（西田FC）は、現在2年生から6年生までの32名のメンバーが、毎週水曜日と金曜日、それに加え、月2回程度の土曜日と日曜日に練習をしています。子供たちの練習を指導しているのは、西田FCの監督を始めて9年目の山本監督と6名のコーチです。コーチ陣は、監督が所属している西田蹴球倶楽部のメンバーの大学生や専門学校生、西田小OBの高校生などで構成されています。こまめなアドバイスとはげまして、やさしく、時には厳しく、アットホームな雰囲気の中で楽しく練習しています。

西田FCの歴史は古く、今から55年前の昭和25年4月、当時の先生によって創られました。そして現在、「西田フットボールクラブ規約」にもとづき、子どもたちとその保護者で組織され、代表をはじめとした世話役8名で役割分担し運営・管理しています。子どもたちのケガや事故に備えて、練習や試合の当番を交代でしています。

子どもたちにとってサッカーは、集団行動や仲間を学ぶのと同時に、礼儀や人との接し方を身につける良い機会となります。試合ではチームメイトとして、同じ立場で協力してプレーしますが、それ以外のときは、節度ある態度や言葉づかいに気をつけるようにしています。例えば、年上の子を呼ぶときは「〇〇君」、コーチに対しては「〇〇コーチ」と、きちんと言葉を使い分けるようにしています。サッカーの技術を身につけ、楽しくサッカーができることはもちろんですが、それ以上に「言葉づかい」「あいさつ」「相手の目を見て聞く、話す」など、大切なことを、サッカーを通じて学んでほしいと思っています。

引き続き



西田小

# 学校通信

今年の新入生は89名  
3クラス。全校生徒数は  
昨年と同じ520名  
です。

## 平成17年度 教職員異動

【退職】

嘱託 酒井 寛子（4年間）  
調理 尾尾 静子（3年間）

【転任】

主幹 井上 潔（2年間） 福生市立第七小学校へ（副校長に昇任）  
教諭 岡 千恵（10年間） 杉並区立高井戸東小学校へ  
教諭 高倉 慶子（6年間） 杉並区立松ノ木小学校へ  
教諭 寺崎 礼子（6年間） 世田谷区立弦巻小学校へ  
事務主任 柴田 真澄（3年間） 杉並区立桃井第二小学校へ  
主事 田口 巧正（1年間） 杉並区立桃井第一小学校へ

## ♥62期生（平成17年3月卒）の進路♥

|    | 都 内   |     |     |     |     | 都 外 | 合 計 |
|----|-------|-----|-----|-----|-----|-----|-----|
|    | 公 立   |     |     | 国 立 | 私 立 |     |     |
|    | 松 浜 中 | 区 内 | 区 外 |     |     |     |     |
| 男子 | 3 5   | 3   | 0   | 0   | 1 4 | 1   | 5 3 |
| 女子 | 1 9   | 3   | 0   | 3   | 1 7 | 0   | 4 2 |
| 合計 | 5 4   | 6   | 0   | 3   | 3 1 | 1   | 9 5 |

卒業生のうち松沢と国立・私立に進んだ者の比率(%)は、62期  
57:36、61期48:33、  
60期57:31、59期  
54:39、58期56:31で  
おおむね49%から57%と、半  
数以上が松沢中学に進学している  
ことになります。

## ♣ いよいよここから同窓会のお知らせです ♣

### ◆西田小同窓会世話人会が開かれました

毎年のことですが、この時期は、同窓会会則第12条に基づき、同窓会総会の代わりとなる同窓会世話人会を行います。今年も6月18日に、西田小内にある西田ゆうゆうハウスで、1期生の志甫哲夫さんを議長に、同窓会会長・理事が平成16年度の運営の結果を報告して、承認を得ましたのでご報告致します。詳細は添付の議事録をご参照ください。

### ◆住所不明会員の調査結果

西田小卒業時に同窓会の会員になって頂いたが、その後ご両親の転勤や、ご本人の結婚などで転居された会員の住所が不明で、会報をお送りしても戻って来てしまうのが沢山（会員2,000名中 約270名）あり、昨年の会報第8号で、調査をお願いしましたところ下記の方々の住所が判明しました。

（1期1組）下川正則さん 田中喜久男さん （13期3組）中川康生さん  
（20期2組）廣兼多恵子さん （同4組）小山直美さん （22期3組）山口豊さん  
（54期1組）梅本雅史さん （57期2組）藤森麻衣さん （59期2組）藤森翔さん  
です。住所など詳細は、個人情報保護法などの施行もあり会報に記載できませんが、ご希望の向きはお名前、卒期などを明示の上、同窓会で担当の中村理事（☎03-3391-0505）にご連絡下さい。

なお、会報第8号記載でこれ以外の方の住所など御存じの向きは、同封ハガキの「近況報告」の欄に書いて頂ければありがたいです。

### 同窓会活動報告（平成年16年3月～17年6月）

- H. 16.3.10 同窓会入会案内を校長へ届け、卒業生に配布を依頼  
3.25 第61期 卒業式、卒業生 81 名、総卒業生 10,261 名  
3.29 板澤校長転出で送別会（9名出席）  
4.7 入学式 新入生 89 名  
4.14 若杉新校長に挨拶（宇田川・土屋）。西荻のご出身の由  
5.8 第56回理事会  
5.20 若杉新校長歓迎会（7名出席）  
5.30 運動会（宇田川・土屋）  
6.13 世話人会（6期出席、8期委任状提出）  
7.17 学校評議委員会（会長が評議員）  
H. 17.1.18 理事会新年会（6名参加）次期会長問題検討  
2.11 ・新卒生勧誘打合せ（宇田川・中村・渋谷・柏木）  
3.4 勧誘案内を校長へ提出、担任経由生徒へ配付依頼  
3.25 第62期卒業式・卒業生 95 名・総卒業生 10,356 名  
3.26 学校評議員会  
4.6 入学式 89名入学 3 クラス、全校生徒 520 名  
4.18 次期会長問題で打合わせ（田村・秋山・土屋・宇田川）

- 4.21 会報第9号の原稿依頼（校長、PTA、クラブ活動指導者へ）
- 5.7 第57回理事会 会長問題、会則改定、今後の運営方針検討
- 5.21 7日の理事会で結論が出なかったため、臨時理事会開催
- 6.4 運動会

## ご寄付のお礼

毎年のことですが、会員各位にご寄付のお願いをしており、十数名の常連の方を含め83名の方より浄財を頂き誠にありがとうございます。ご承知の通り、会の運営は終身会費と会員のご寄付で賄うことになっており、皆様のご支援に感謝しております。

ここに、ご支援を頂いた各位のお名前を記載してお礼の印とさせていただきます

（敬称略・終身会費も含む）

（1期）井口和雄 唐木三夫 志甫哲夫 長谷川博一 （3期）宇田川允敏 岡本恵祐  
土屋忠夫 後藤真弓 中部恵美子 矢内花簾 （4期）唐木宏 中澤伸二 宇賀神明子  
（5期）志甫博 中村通敏 西野喜久子 （6期）川元千明 尾引淳子 佐原令子  
杉山啓子 山崎明子 （7期）宇田川一浩 桑原元茂 浅野純子 中村昭 （8期）  
石井芳子 渋谷好重 （9期）宇治川多嘉子 倉本英子 （10期）梅本吉彦 家田誠治  
高山由紀子 尾形守 河西宏和 木田拓郎 樋口悠治 志村洋子 （11期）志摩六三郎  
菊地皓子 （12期）宇田川光男 渡辺正子（横浜市）杉原素子（13期）渡辺正子（目  
黒区） 中川康生 松川英司 （15期）大谷吉興 （16期）山田貞彦 （19期）  
安藤公一 後藤隆一 松井栄子 足立栄太郎（21期）石丸剛（22期）三輪正廣  
（24期）福代茂（26期）木下佳子（32期）大橋康江（39期）山形教亨（44期）  
岡本朋祐 （52期）松田光宏 （53期）瀧島さやか （58期）村瀬江梨子  
（59期）小林知幸 （60期）木下めぐみ 下田祥代 松田真生 （61期）小林幸奈  
（62期・新入会）荒井俊人 木下えみ 下田康司 松田奏 宮城夏果 村瀬奈保子  
吉崎茉耶 渡辺萌 青木亮太 鶴名山裕雅 加藤羅沙 河下孝貴 斉藤一希 中野健斗  
生田目真悟 渥美竜哉 北添裕季

## ♥ 会長よりさらなるご支援のお願い ♥

同窓会としては、毎年会員各位から熱心なご支援をいただいておりますが、添付の同窓会世話人会の議事録の会計報告にあります通り、同窓会の次期繰越金（同窓会の貯金）が60万円弱になってしまいました。

同窓会運営の資金は、会則（第15条）にあります通り、新入会員の終身会費と会員の寄付金で賄うことになっており、これ迄は皆様のご支援でその通りにやって来ることができました。

ところで、同窓会の年間運営費用は、昨年の支出を例としますと、支出総計が約40万円で、この内会報発行費用が約32万円（内郵便費15万円）、インターネット費が約6万円と、この2項目で経費の95%を占めています。要するに会員へのサービスの費用が95%を占めている訳ですが、一方において会員各位からのご寄付は、終身会費を含めても30万円前後で、どうしても前期からの繰越金に手をつけざるを得ないのです。

もともと終身会費の千円は、同窓会への入会の意思表示として頂いているもので、会報



を5回（5年）出せばなくなる金額で、基本的に同窓会の運営は、皆様の寄付金だけが頼りなのです。

思い切って会報の発行を止めてしまえば、一挙に解決する訳ですが、会員各位へのサービスは、年一回会報をお届けすることが出来なくなれば、何もなくなってしまい、同窓会の存在意義もなくなってしまいます。

つきましては誠に勝手なお願いですが、同窓会の財政支援のため、会員各位の更なるご支援を頂き、年額50万円程度まで寄付金が増えるようになれば、ありがたいのです。

当然のことながら、私ども理事会は12名の少ない陣容ですが、発行費用の節約のため会報の封筒詰め（約3万円）や、郵便費節約のために、理事たちで荻窪近辺の会員への配達（約4万円）などを計画しております。

また、従来は会報の編集について、理事会からの一方通行でしたが、これまでの会報の内容に関するご意見や、会員各位のご希望などを容れたものにしたいと考えておりますので、同封のハガキの「同窓会会報に関するご意見、ご希望など」の欄にご記入頂ければありがたいです。

何とぞ実情ご理解の上、ご協力をお願い致します。

なお、同窓会では、別途ホームページも開設しておりますので、時には下記アドレスへアクセスしてみてください。

内容については、今年の会報第8号の最初のページに詳しく載せてありますので、御覧ください。

<http://www.nishitashou-dousoukai.com>

また、西田小学校にもホームページがあります。アドレスは

<http://www.nishita-e.suginami-kyo.ed.jp/>

です。

## 6年生の卒業俳句（スペースの都合で今年入会した卒業生のみです）

もう少し 学校生活 送りたい （木下えみ）

西田小 いっぱい学んだ 六年間（下田康司）

六年間 私を見ていた 西田小 （宮城夏果）

6年生 みんな卒業 さくら咲く （村瀬奈保子）

六年間 先生たちへ ありがとう （渡辺萌）

友達と別れていても 忘れない（青木亮太） 慣れた道 反対方向 4月から（吉崎茉耶）

中学で また新しい 友に会う（加藤羅沙） 思い出の 移動教室 忘れない（河下考貴）

六年の 経験生かし 中学へ（齋藤一希） 中学校 勉強多く 大変だ（渥美龍哉）

これまでの 勉強いかして がんばるぜ （中野健斗）

中学は 新しいこと 始まるよ （生田目真悟）

サッカーを 中学行っても がんばるぞ （北添裕季）

将来は プログラマーに なりたいな （荒井俊人）

将来は ワールドカップで 得点王 （松田奏）

将来に 向けて歩むぞ 最後まで （鵜名山裕雅）

会報第9号完